

2016. 9. 29(木)

「きのくに学力フォローアップ事業」研究授業を実施しました。

9月29日(木) 2限 1年2組 「社会科」 授業者 辻本雄祐 先生

次期学習指導要領では、何を学ぶかに加え、主体的・対話的で深い学びの実現というアクティブラーニングの視点が盛り込まれます。

本校では、それに先駆けて授業改善・学校改革として、授業を『教える』から『学び取らせる』に、生徒の姿を受動的な姿勢から主体的な姿勢に変えるため「学び合いの授業づくり」に取り組んでいます。

そのために従来の教師主導の一斉授業から、男女4人一組のグループ学習を取り入れることで、生徒相互に聴き合える関係を作り、わからない子が「ねえ、ここどうするの?」という問いを発することができるようにした授業のスタイルへ転換を図っています。

そして、「学び合いの授業づくり」の実践の確認・指導のため「きのくに学力定着フォローアップ事業」として本校元校長の丸山雅嗣先生がフォローアップアドバイザーとして教員の授業と生徒達の学ぶ姿を参観し、本校の授業改善に協力してくれています。

今回の研究授業で、1年2組では生徒相互の「聴き合える関係」が構築され「静かな学び」が展開されていました。授業者からは生徒自らが学び取れる課題、根拠をもって他者に説明する課題が提案され、生徒達による主体的な学びの姿を観ることができました。



「グループ学習の約束」

- ・まずは独(ひと)りで考えよう
- ・分からなかったら訊(き)こう
- ・訊(き)かれた応(こた)えてね
- ・訊(き)かれるまでは教えない

「学び合い」の3つの約束

- 一 わからないと言うことができる
- 二 友達の声に耳を傾ける
- 三 自分のわからないことを追求する